

第28回医療情報学連合大会

日本IHE協会

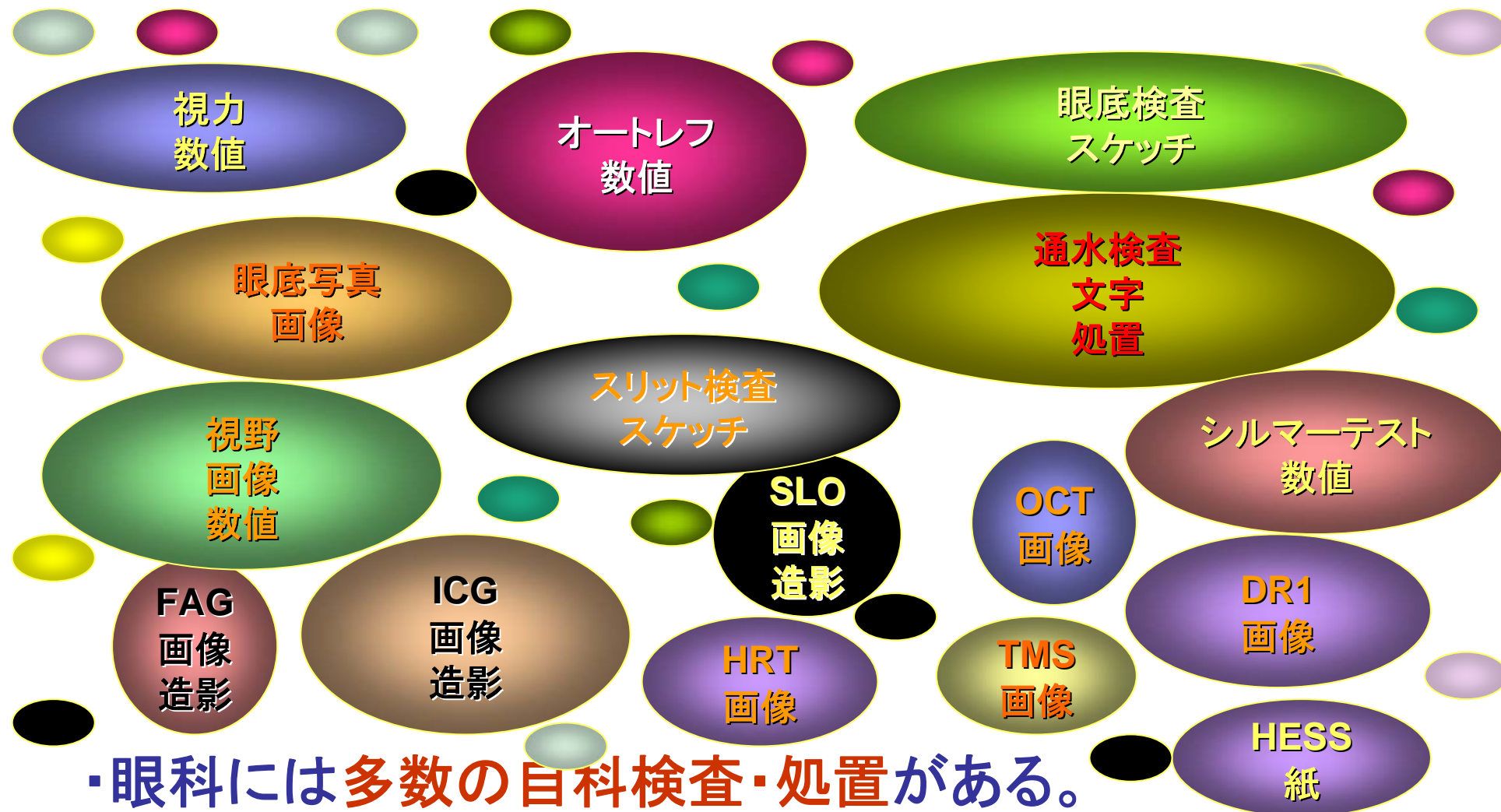
チュートリアル 『IHE UPDATE』

眼科分野

日本IHE協会眼科委員会

東京女子医科大学眼科

篠崎和美



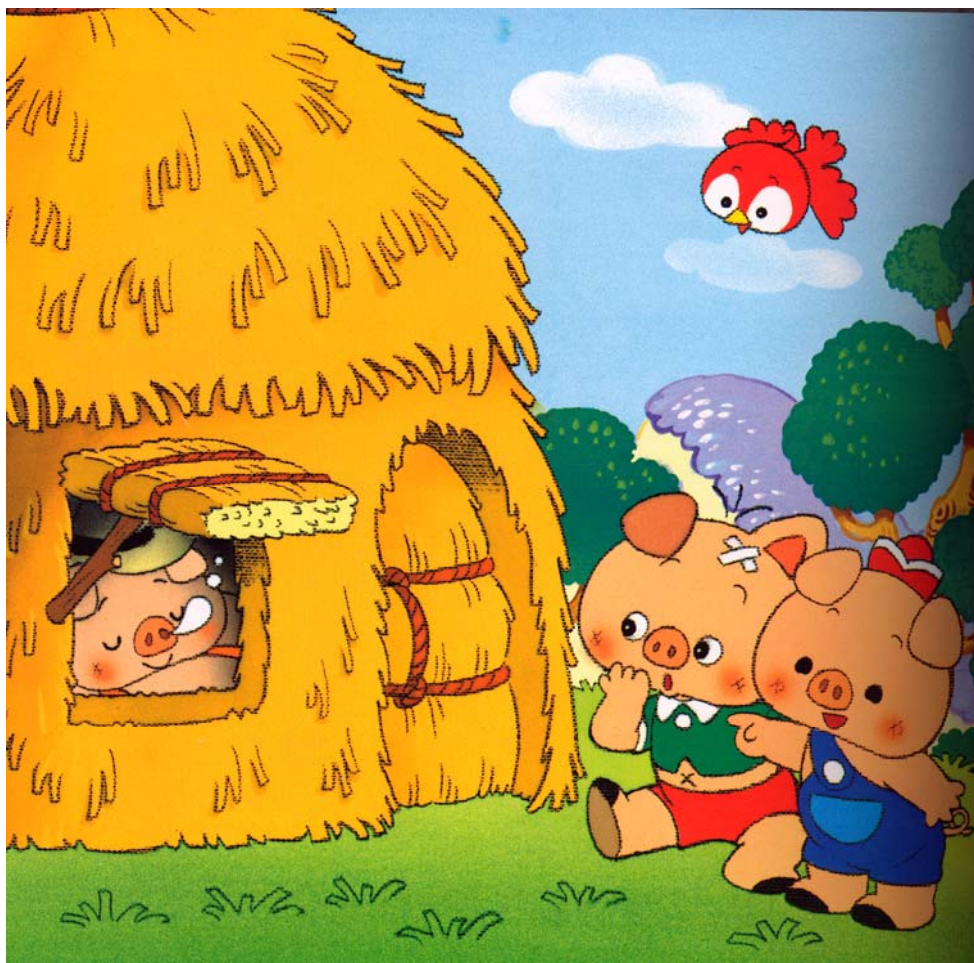
- ・眼科には多数の自科検査・処置がある。
- ・自科検査は画像、数値、文字、スケッチがある。
- ・眼科医自身が検査、診断、処置、治療に携わる。
- ・眼科診療には、医師、看護師、視能訓練士、事務職など様々な職種が携わる。



電子カルテ
+
眼科部門システム
+
日本眼科学会からの答申
「大学附属病院および国立病院眼科における
完全(ペーパーレス)電子カルテ化導入について」



眼科部門システムの併用で何とか診療できた



しかし

システムの交換・バージョンアップすると？

検査機器の交換すると？

10年後のデータは大丈夫？

いつ機能が向上するの？

いつまで高額な支払いをするの？

遠隔地医療など大丈夫？

医療全般のIT化の流れからは？



長期の保障はあるか
機能の向上は亀の歩み
眼科部門システムは今だ高額

もし標準化していくと

長期の保障が得られる
機能の向上にむけて効率化できる
眼科部門システムへの費用が下がる

抱える問題の解決方法の一つの手段が
標準化

いざ標準化といっても…。

複雑

眼科は自科検査が多い
関与する職種が多い、しかも時と場合により代わる
検査結果も画像・数値・スケッチ・紙と様々

どこまで、何から、どのように

必要

ベンダ・ユーザの協力
話し合いの場
情報

昨年度目標

眼科領域における標準化の取り組み

IHE理事長も
説明に来て

IHE協会＋眼科医療機器協会

自科内検査を含んだ
小規模内科急性期病院での
フィルムレス運用

IHE-J眼科合宿2007に向けて

JAHIS IHE-J検体系検討WG
千葉 信行

夏合宿開催

いかにしてテクニカル
フレームワークをつくるか

有限責任中間法人日本IHE協会
技術担当理事
吉村 仁
ユニコム/ルタエムジー株式会社

IHE理事長も
説明に来て
くださった。

IHEは米国

IHEの初期の概念は
1999年に北米放射線学会 (RSNA) と
医療情報・管理システム会議(HIMSS)がスポンサー
となって活動が開始された

中島 隆

IHE協会＋眼科

眼科診療の特徴と流

東京女子医科大学医学部眼科
篠崎和美

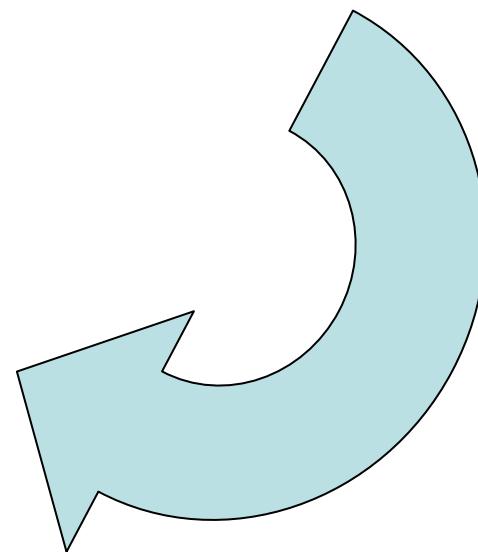
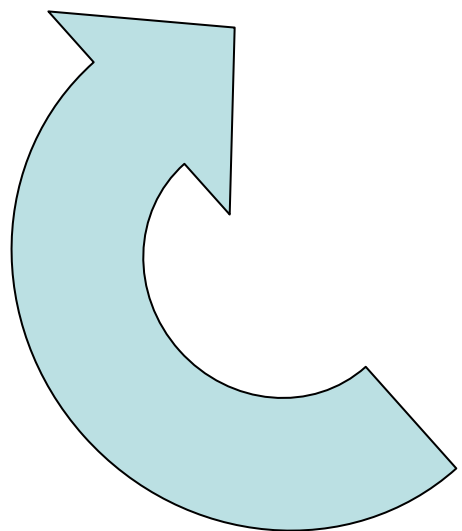
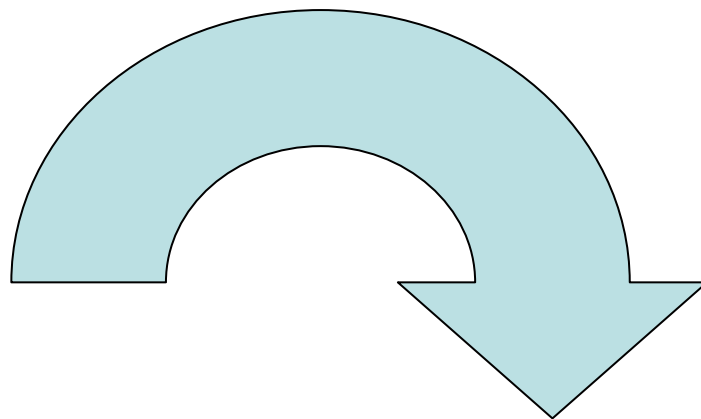
日本眼科学会

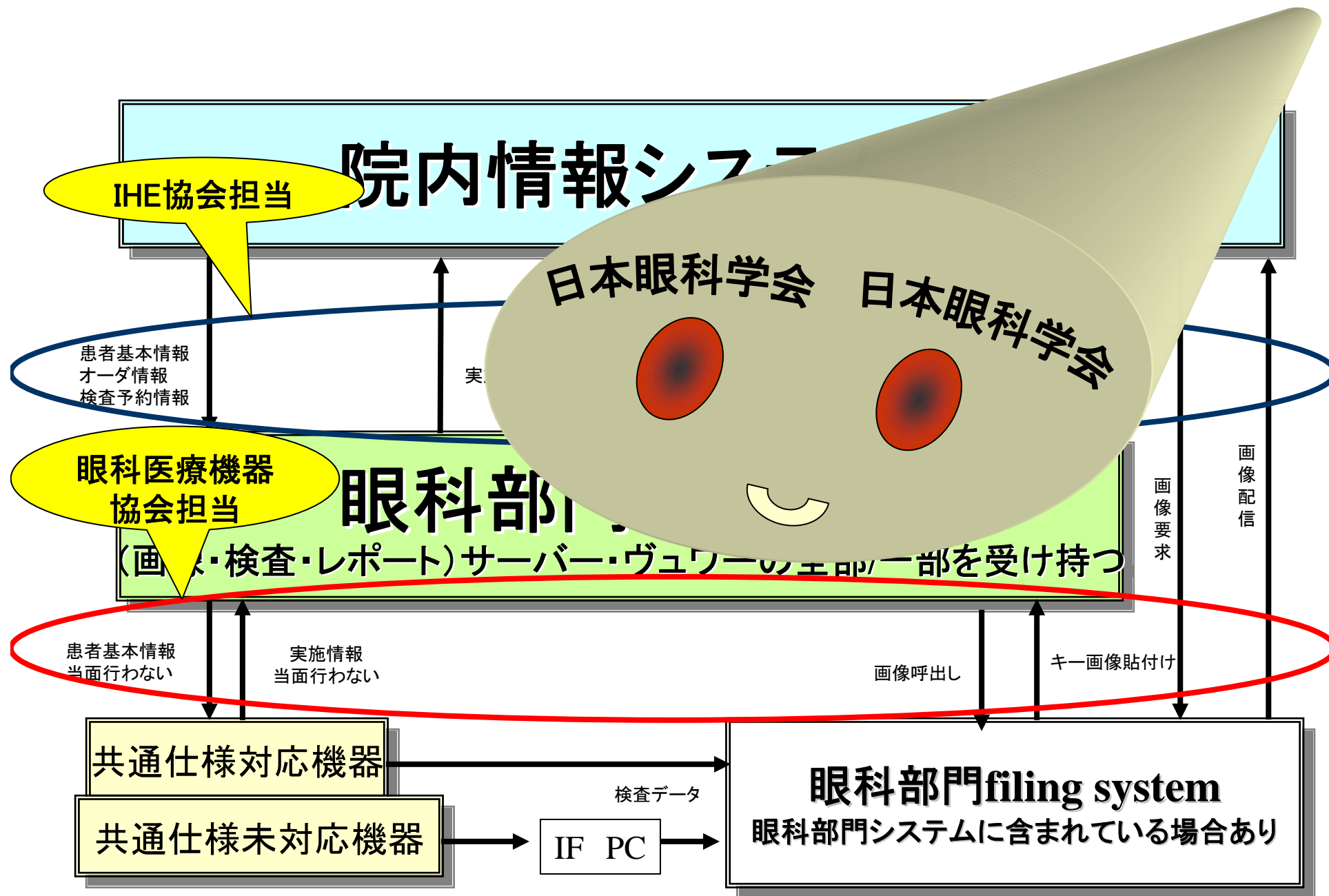
日本眼科
医療機器協会

日本眼科学会

協力

日本IHE協会





共通仕様; DICOMあるいはHL7が望ましい

電子カルテ化における眼科領域の標準化 日本IHE協会眼科委員会の役割

後ろにはテールランプをつけましょう

前にはヘッドライトをつけましょう

バックミラーもつけましょう

サイドミラーをつけましょう

アクセルは右に
ブレーキは左に

海外でも利用できる車にしよう

この交通規制を守るために、標準規格を用い、
必要なガイドラインを提案しよう(標準化)。
さらに、海外にも通用させよう。

電子カルテ化における眼科領域の標準化 日本眼科医療機器協会の役割

アクセル、ブレーキなどのパーツと本体の接続部を共通の規格に、

外車にも使える

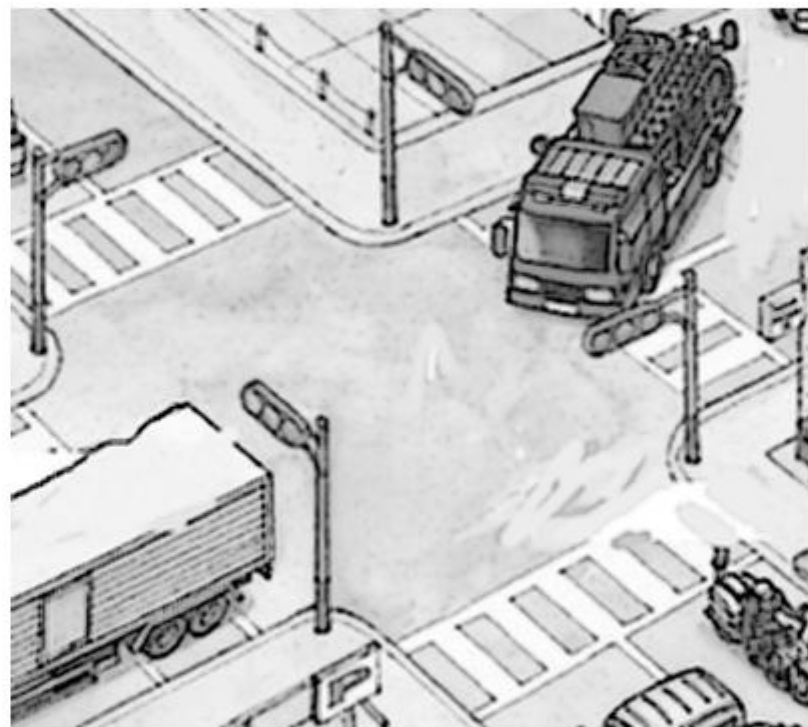
海外のパーツメーカーにも、国産車に利用できるよう提案
(IHEの協力を得て)

パーツが故障したとき、他社のものでも使えるように
使えるパーツは、本体を交換しても使えるように
海外にも通用するパーツ

眼科医療機器協会：眼科検査機器メーカー104社が加盟する団体
標準化技術委員会設立され、22社(36名)が登録

電子カルテ化における眼科領域の標準化

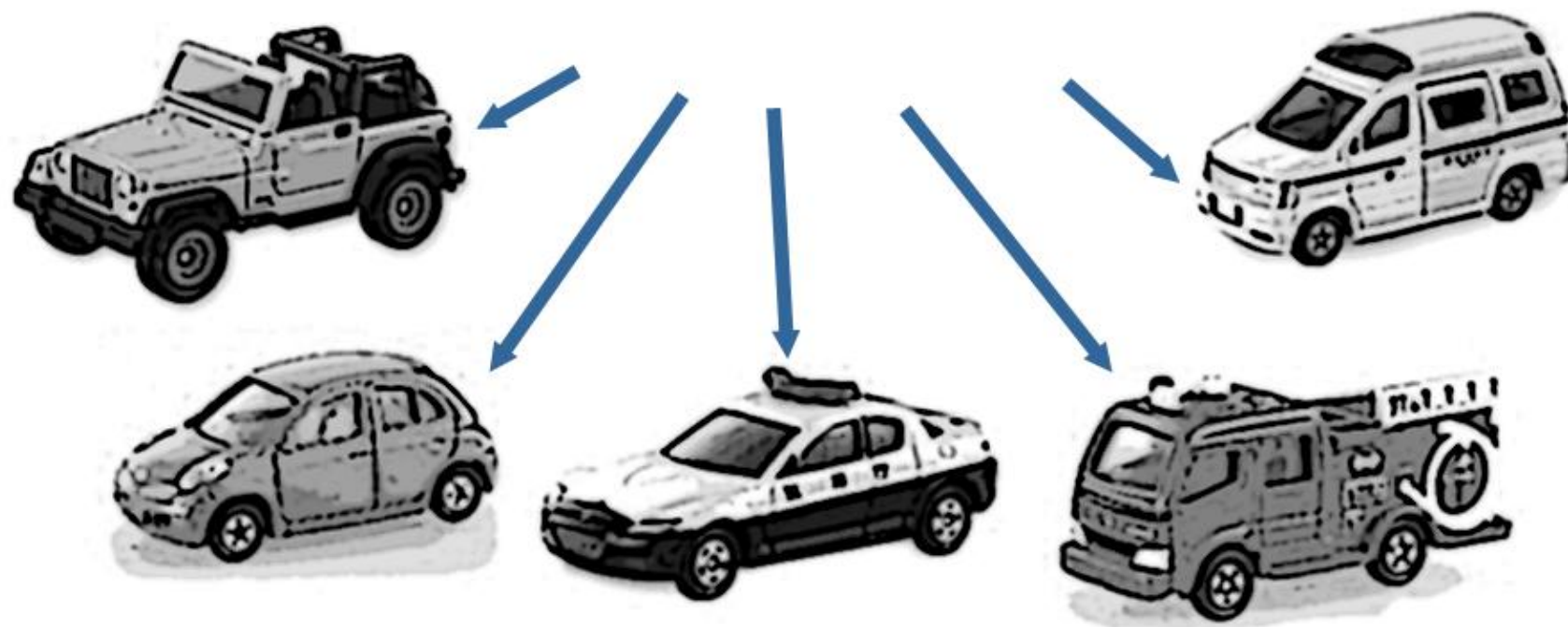
日本眼科学会の役割



『眼科における、安全かつ便利な交通は、・・・だ。』
『安全かつ便利な交通が確保できる交通規制は、・・・だ。』
を提案



標準化規格を用い標準化し、基本設計を決めても



各ベンダで十分特色を出すことができる

本年度目標

眼科領域への標準化の啓発活動 産学連携による標準化

- ・啓発活動

日本の眼科への投稿

日本眼科臨床学会でインストラクションコース開催

日本眼科手術学会でワークショップ開催＋展示

平成21年1月24日(土) 9:00-11:00 / 15:00-17:00

神戸国際展示場3号館 特設ブース

主催：日本IHE協会普及委員会、日本IHE協会眼科委員会

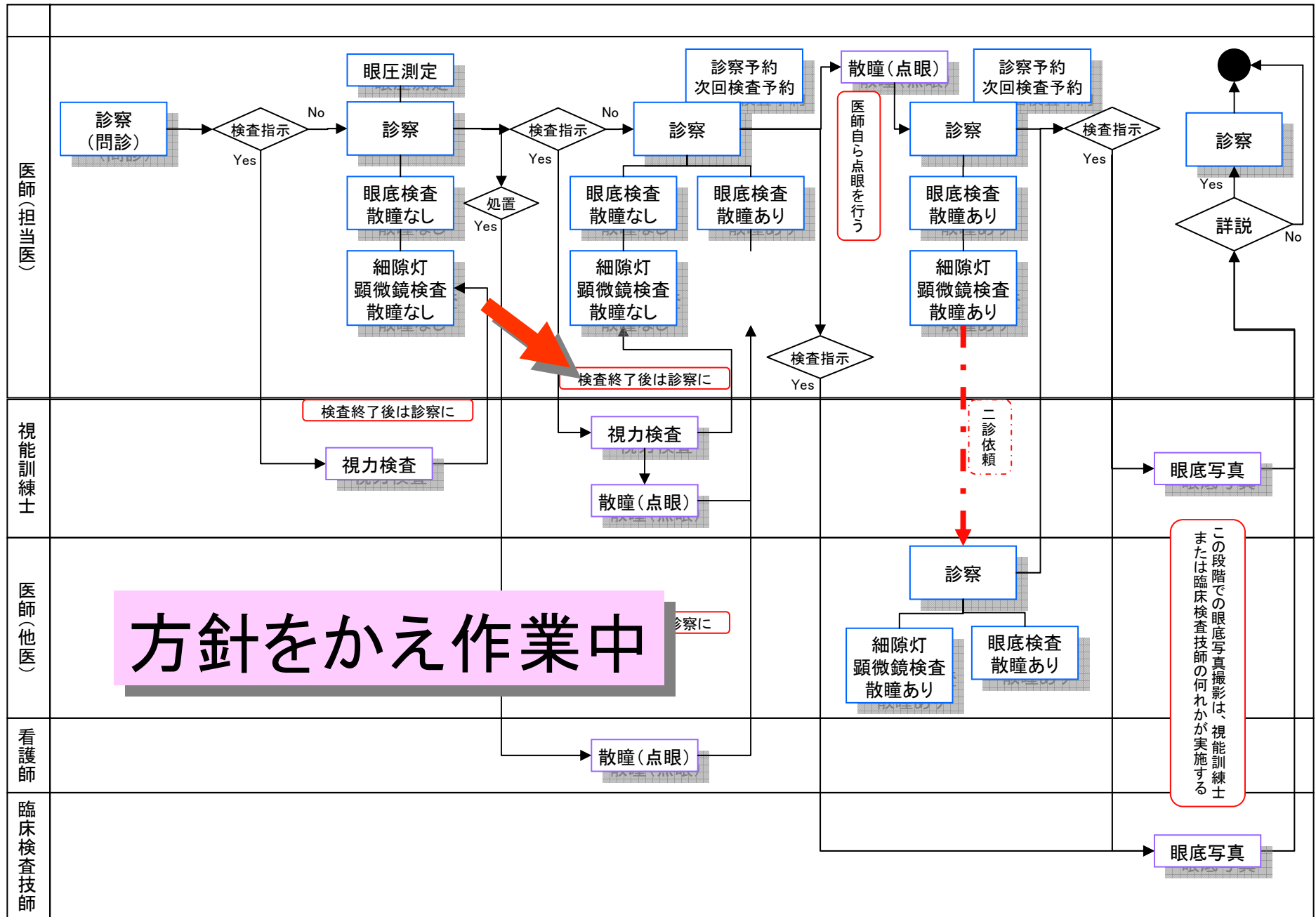
共催：財団法人日本眼科学会、日本眼科医療機器協会

初診

視力検査、細隙灯顕微鏡検査、眼圧測定、眼底検査を行う場合～



・初診時ワークフロー(TWMU) ～診察・検査・処置と医療スタッフの相関フロー～



オートレフケラトメーター
数値

眼底検査
スケッチ

視力
数値

眼底写真
画像

通水検査

スリット検査
スケッチ

SLO
画像
造影

視野
画像
数値

ICG
画像

REF. DATA NO. 0024

| | | | |
|-------|--------|--------|-----|
| VD: | 12.00 | CYL: | (-) |
| <L> | S | C | A |
| - | 1.00 | - 0.50 | 7 |
| - | 1.00 | - 0.50 | 8 |
| - | 1.00 | - 0.50 | 5 |
| - | 1.00 | - 0.50 | 4 |
| - | 1.00 | - 0.50 | 5 |
| - | 1.00 | - 0.50 | 5 |
| S. E. | - 1.25 | | |

KRT. DATA

| | | | |
|------|-------|------|----|
| <L> | D | MM | A |
| H | 39.50 | 8.54 | 8 |
| V | 40.75 | 8.29 | 98 |
| AVE | 40.00 | 8.42 | |
| CYL: | -1.25 | | 8 |
| MM1 | MM2 | A1 | |
| 1 | 8.56 | 8.30 | 7 |
| 2 | 8.54 | 8.30 | 9 |
| 3 | 8.53 | 8.29 | 8 |
| 4 | 8.51 | 8.28 | 7 |

眼科で必須の機械
数値で扱いやすい

検査機器がほとんど国産

通常臨床に使用するデータは限られる

眼科診療には、医師、看護師、視能訓練士、事務職
など様々な職種が携わる。

現状での各検査機械からのデータ入力

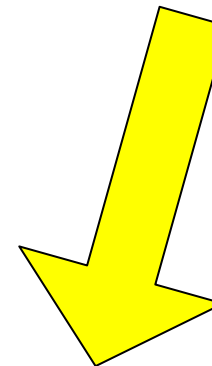
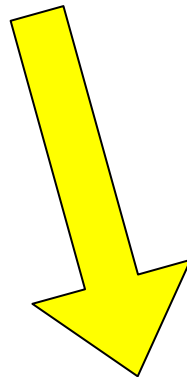


A社レフラクトメータ

異なる出力様式



B社レフラクトメータ



ファイリングシステム

日本眼科医療機器協会アンケート

眼科医療機器協会全体の参加社数 101社

(2008年10月1日現在)

標準化技術委員会の参加社数 21社

国内ベンダ 12社

海外ベンダ 4社

ファイリング・ソフト他会社 5社

オートレフラクトケラトメータ標準化参加社数 13社

レフケラト標準化アンケート協力 6社(国内ベンダ)

標準化後の各検査機械からのデータ入力



REF. DATA NO. 0024

| | | | |
|-------|--------|--------|---|
| VD: | 12.00 | CYL: | |
| <L> | S | C | A |
| - | 1.00 | - 0.50 | |
| - | 1.00 | - 0.50 | |
| - | 1.00 | - 0.50 | |
| - | 1.00 | - 0.50 | |
| - | 1.00 | - 0.50 | |
| - | 1.00 | - 0.50 | |
| S. E. | - 1.25 | | |

KRT. DATA

| | | | |
|-----|-------|-------|--|
| <L> | D | MM | |
| H | 39.50 | 8.54 | |
| V | 40.75 | 8.29 | |
| AVE | 40.00 | 8.42 | |
| | CYL: | -1.25 | |
| | MM1 | MM2 | |
| ■1 | 8.56 | 8.30 | |
| ■2 | 8.54 | 8.30 | |
| ■3 | 8.53 | 8.29 | |
| ■4 | 8.51 | 8.28 | |

```
<Measure type="REF">
```

```
<VD unit="D">12.00</VD>
```

```
<DiopterStep unit="D">0.25</DiopterStep>
```

```
<AxisStep unit="deg">5</AxisStep>
```

```
<CylinderMode>-</CylinderMode>
```

```
<R>
```

```
<List No="1">
```

```
<Sphere unit="D">-2.50</Sphere>
```

```
<Cylinder unit="D">0.50</Cylinder>
```

```
<Axis unit="deg">180</Axis>
```

```
<SE unit="D">-2.75</SE>
```

```
<CataractMode>on</CataractMode>
```

```
<IOLMode>on</IOLMode>
```

```
<ConfidenceIndex>9</ConfidenceIndex>
```

```
</List>
```



トメータ

データを

来年度目標

眼科領域への標準化の啓発活動継続 産学連携による標準化継続

・啓発活動

日本眼科臨床学会展示ブースでコネクタソン開催

日本臨床眼科学会でインストラクションコース開催

日本IHE協会眼科委員会委員

日本眼科学会会員；吉富健志(秋田大)・永田 啓(滋賀医大)・

稲用和也(旭中央病院)・小幡博人(自治医大)・篠崎和美(女子医大)

日本IHE協会；奥田 保男(岡崎市民病院・情報管理室)

日本眼科医療機器協会；

ベンダ；興和、トプコン・ニデック・ピーエスシー・

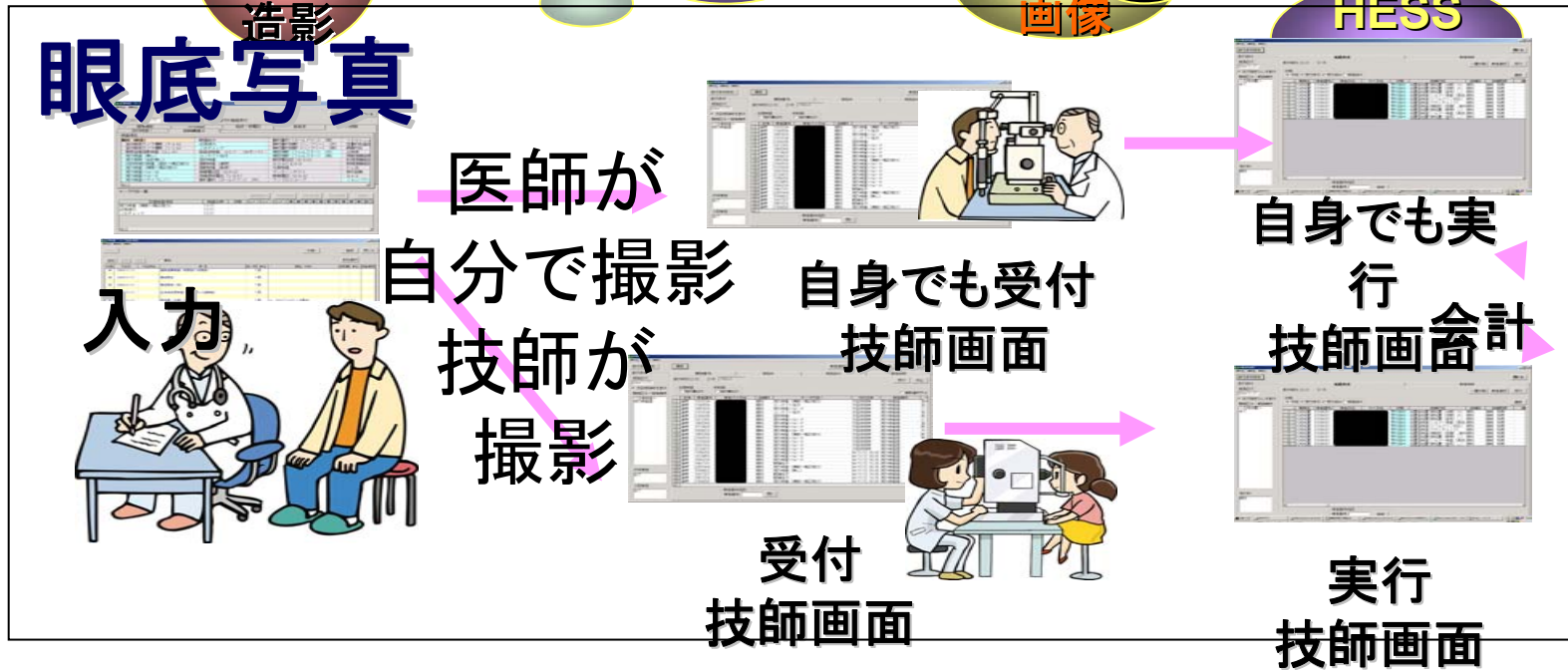
キャノンマーケティングジャパン・ファイバーテック

木国EYE CAREとのコンタクト

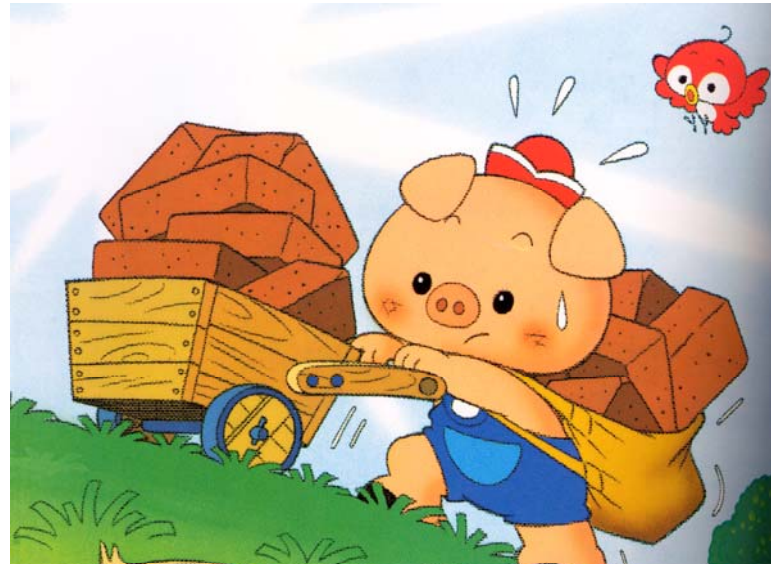
課題は山のように残っています！



眼底写真



レンガの家を目指しがんばっています。
応援・協力お願い致します。



日本IHE協会眼科委員会委員

日本眼科学会会員；吉富健志(秋田大)・永田 啓(滋賀医大)・

稲用和也(旭中央病院)・小幡博人(自治医大)・篠崎和美(女子医大)

日本IHE協会；奥田 保男(岡崎市民病院・情報管理室)

日本眼科医療機器協会；

ベンダ；興和、トプコン・ニデック・ピーエスシー・

キャノンマーケティングジャパン・ファイバーテック